

企業理念

Mission — 企業理念

優れたテクノロジーを、親しみやすく

世の中は技術革新によって目まぐるしい進歩を続けます。

企業・社会が持続的な成長を為すには、先進技術をいち早く取り入れる必要がある一方、

正しい使い方を見極めて徹底活用しなければ望んだ効果は得られません。

私たちJBSは、お客さまに寄り添い、お客さまにとって必要な技術を最適な形で届け続けることで、

技術革新がもたらす企業・社会の持続的成長に貢献してまいります。

Vision — 目指す姿

社会のデジタル変革をリードする No.1クラウドインテグレーター

働き方の変化やダイバーシティ等の加速により、

世界中の社会・経済の在り方が大きく変わろうとしています。

すべてのプレイヤーが

社会課題の解決に必要なビジネスモデルの確立や構造改革に取り組むべき時代です。

このチャレンジをスピーディに遂行するためには、

お客さま自身がテクノロジーを理解し、自らデジタル変革を起こしていく必要があります。

私たちJBSはクラウド活用のプロフェッショナル集団です。

お客さま自身のクラウド活用力を高め

デジタル変革を起こす体制・仕組み作りに貢献出来る存在として、

一番にお声がけいただけるパートナーを目指してまいります。

Value — 行動指針

Customer First 「お客さまの期待を超える」

お客さまの視点に立ち、主体性を持ってスピーディに行動することで、
お客さまの成功につながる最良の解決策を提供します。

Diversity & Inclusion 「一人ひとりの個性を大切に」

お客さま、ビジネスパートナー、社員・家族など、関わるすべての人々の個性を尊重します。

Integrity 「誠実かつ、ひたむきに」

信頼関係を築くことを大切にし、あらゆる活動に真摯に向き合います。

Passion for Technology 「情熱を持ってテクノロジーを追求」

テクノロジーに触れたときの感動を忘れずに、無限の可能性を追い続けます。

Commitment to Growth 「挑戦と成長」

常に挑戦し、学び、成長し続けます。

JBSの特長と強み

1990年設立

創業**33年**



クラウドサービス提供

239万
ユーザーID



マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー

11年連続受賞



取引社数

1,800社以上



トップメッセージ

独自の強みやポジションを 最大限に活かして 「No.1クラウドインテグレーター」へ

代表取締役社長
牧田 幸弘



上場の効果とJBSの強みを実感した1年

2022年8月の株式上場から1年半が経ち、多くの方々に当社のことを知っていただくことができ、上場前とは異なるステークホルダーの皆さまと対話する機会も増えました。当社に興味・関心を持ってくださる投資家の皆さまからさまざまな質問・要望をいただき、当社への期待の大きさを感じるとともに、持続的な成長を実現していく責任の重さを身にしみて感じています。

ビジネスにおいても、新たにお声がけくださるようになったお客さまが飛躍的に増加し、クラウドに特化したエンタープライズ向けのシステムインテグレーターとして広く市場に認知していただけたと実感しています。特に、マイクロソフトクラウドの活用支援に強みを持ち、多くの実績と人材を有していることが私たちの差別化につながっていると認識しています。

日本マイクロソフトが優れた実績をおさめたパートナー企業を選出する「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」においては、2023年も2部門でアワードを受賞し、11年連続での受賞となりました。加えて、同社が2023年から新たに実施した「Microsoft Top Partner Engineer Award」では、先進的な

プロフィール

1957年生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。1979年日本アイ・ビー・エムに入社。コンピュータ関連製品の営業を経て、1990年日本ビジネスシステムズを設立し独立。いち早くパーソナルコンピュータの将来性に着目し、1995年にはマイクロソフトとの販売パートナー契約を結ぶ。クラウドシステムを活用してお客さまのDX戦略の推進と成果創出までを支援する「No.1クラウドインテグレーター」を目指し経営の舵をとる。

トップメッセージ

案件に関わった実績や、マイクロソフトテクノロジーの社内普及活動などにおいて活躍するエンジニアが表彰され、JBS9名、グループ会社のネクストスケープ1名の計10名が受賞しました。1社で9名の受賞は全パートナーのなかで最多となります。当社グループにはマイクロソフトのスキルを持った人材が豊富に在籍しており、マイクロソフトビジネスにおいてトップクラスのサービスを提供できる企業であることを改めてお示しできたと感じています。常に最前線でお客さまと向き合い、価値を創り出しているエンジニアたちが同社から評価されたことを大変うれしく思っています。



マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー 2023



Microsoft Top Partner
Engineer Award

生成AIをはじめとする クラウド実現力を核としたビジネスを展開

引き続き旺盛なDX需要を受け、企業におけるクラウド活用範囲は日々拡大しています。当社のお客さまにおいても、Microsoft 365のコミュニケーション基盤をベースに、クラウドを事業改革や業務効率化に活用する動きがさらに広がっており、オンプレミスとのハイブリッドインフラ構築や、アプリ開発、クラウドERPなど、本格的な利活用需要がシフトしています。こうしたコミュニケーション基盤構築後の次のステップとして新たに生まれてくる需要に対し、当社が提供できる付加価値を最大限に訴求し、今後のビジネス成長と利益確保につなげていきたいと考えています。

加えて、もう一つの大きな潮流として、ChatGPTをはじめとする生成AIの活用に企業の関心が寄せられており、日本でも大手企業を中心に相当なスピードで導入が進んでいます。メーカー動向としても、メーカー各社が自社製品やサービスに生成AIを組み込むなど、生成AIの活用が大きなテーマになってきています。生成AIは今後、オフィスワークに革新をもたらし、働き方やビジネスに大きなインパクトを与えようと考えています。

当社は、このような状況から、2023年4月にエンタープライズのChatGPT活用を支援する「アイプリシティ チャット Powered by ChatGPT API (以下、アイプリシティ チャット)」をリリースしました。「アイプリシティ チャット」はAzure OpenAI serviceを活用し、セキュリティを担保した環境でのChatGPT利用を可能にします。

2023年11月には、当社が主力として扱っているマイクロソフト製品においても、OpenAIの技術を組み込んだ「Copilot for Microsoft 365」がリリースされ、「Excel」「PowerPoint」「Word」「Microsoft Teams」といった製品に生成AIが搭載され

ました。当社は、日本で2社のみが参加した同サービスの先行検証プログラムに参加、そこで得た知見を「Copilot NAVI」として、いち早くサービスをリリースし、すでに多くのお客さまから好評をいただいています。

今後は、生成AIにおける自社オリジナルサービスの拡充及び本格的な業務利用のプロジェクトを進めていき、生成AIの活用・定着化を促すビジネス展開によって、さらなる成長と進化を目指します。

我々JBSの強みは、マイクロソフトをはじめとする各メーカーの最新技術について、社内での実利用を通じて最も効果的な活用方法を検証し、顧客にサービスとして展開、導入後のサポートもできるところにあると考えています。

私は、生成AIに大きな可能性を感じており、当社が飛躍的な成長を遂げるチャンスの1つだと認識しています。現在リリースされている



トップメッセージ

生成AIのサービスは、どの業界や業務でも共通して使えるものが多いのですが、今後は業界特化型、または使用する企業固有のデータを活用するようなニーズが増えてくと予想しています。生成AIの開発競争において、他社に遅れをとらないようにするためには、人材を確保して、プロフェッショナルを増やしていくことが不可欠です。生成AIは新しい技術であり、自前でエンジニアを育成する必要があるため、育成できる環境があることが重要になります。その点で当社は、国内でもトップレベルの環境を有しています。さらに、当社には、生成AIの利用に不可欠となるクラウドに関するエキスパートが揃っていることに加えて、これまでの事業活動によって、お客さまの生成AI活用・定着化をサポートできるポジションにあります。こうした当社が培ってきた人材や知見などを活かして、お客さまの新しいビジネス創出に貢献し確かな成長を実現していきます。

また、生成AIに限らず、ライセンスビジネスにも新たな動向が出て

きています。それは日本のグローバル企業が、調達コストの削減やガバナンス強化の観点から、世界中の拠点で使用するライセンスを「日本で一括調達し、日本で管理していきたい」というニーズが高まっていることです。このような皆さまの声にお応えし、当社ではマイクロソフトパートナー企業のなかでも世界Top10に入るリーディングカンパニーCrayon Group AS (以下、Crayon) と提携し、グローバルライセンスの供給やサポート体制を整えお客さまへ提供を開始しています。

ビジネス成長を支えるESGへの取り組みを強化

持続的な成長の実現に向け不可欠となる人材獲得・育成強化（人的資本経営）については、機会とリスクの両側面があると認識しています。先に述べたようなクラウド需要の変化や、生成AIといった先進的な技術の取り組みを踏まえ、当社では需要の変化に対応する社内リソース



の最適化と利益の拡大が、今後の大きなテーマになっていくと認識しています。

当社の主な顧客は大手エンタープライズであり、その業務革新をサポートしていくためには、顧客企業の社員の皆さまと同等に環境や文化を理解し、プロジェクトを推進する高いスキルが求められます。引き続き、獲得した人材をしっかりと育成して、最前線でお客さまと向き合えるメンバーを増やしていく必要があると考えています。そうすることで、お客さまからも安心してさらに広い範囲の仕事をお任せいただけて、責任を持って高品質なサポートを提供できる体制を整備・強化してまいります。

2023年9月期の新卒採用は189名（単体）、キャリア採用は118名（単体）となり、上場効果もあって安定した採用ができています。旺盛なクラウド需要に対応していくために、今後も積極的に人材採用を行っていく方針です。社員の増加に伴って、オフィスについても当期は大阪や沖縄で新たな環境を整備しました。来期は東京本社の拡張を計画しており、2024年5月には本社を虎ノ門ヒルズステーションタワーへ移転する予定です。

Copilot NAVI

2023年11月リリース

Copilot NAVI

Copilot for Microsoft 365の当社ナレッジ、実績が活かされており、Copilotを活用するうえでキーとなる的確な指示・質問（＝プロンプト）のサンプルや推奨活用シーンのトレーニング動画・概要ドキュメントを提供します。



西日本事業所



沖縄事業所

トップメッセージ

また、社員の定着化という点では、採用した人材を育成し、評価までをトータルサポートするHR戦略本部を2023年4月に新設しました。当期からエンゲージメント調査を実施し、その結果をもってマネジメント層でのディスカッションや各組織での振り返りを行っています。こうした定期的な調査と課題解決アクションを継続して、社員一人ひとりのやりがいと働きがいを醸成しながら、働きがいのある環境整備を推進します。上場により当社の知名度及び信頼度が向上しているとも感じており、人事制度改革の加速、キャリア入社者に対するオンボーディング



施策の充実を図ったことなどの効果もあって、2023年9月期の離職率は前期の7.7%から5.9%へと低下しています。

気候変動への対応としては、お客さまのサーバー環境をオンプレミスからクラウドへ移行するご支援を通じて、CO₂排出量の削減によるサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。マイクロソフトは2030年までにカーボンネガティブの実現を目指しており、同社の取り組みと連携することでも、CO₂排出量の削減に貢献したいと考えています。

そして、ガバナンスの強化については、さまざまな経験と専門性を有する社外取締役との意見交換の機会を増やしています。取締役7名のうち4名が社外取締役であり、取締役会以外の場面でも、当社の事業環境を踏まえたうえで広い知見から貴重なアドバイスを受けており、非常に助かっています。

当社では、取締役会の機能を継続的に向上させ、ひいては中長期的な企業価値の向上を実現していくために、取締役会の実効性を分析し、評価しています。取締役会では、経営課題について、多面的かつ自由闊達な議論が行われています。前年度の実効性評価では、取り組むべき課題として、企業価値向上に向けた戦略的な議論のさらなる充実、ステークホルダーとの対話の促進などが挙げられていましたが、当期の取り組みをとおして概ね改善しています。当期の評価としては、取締役会におけるジェンダーやスキル領域の多様性の向上、ステークホルダーとの対話状況に関するフィードバックの拡充などが課題として挙げられました。今後、取締役会の実効性のさらなる向上を図るために必要な施策を継続的に検討・実行していき、豊富な経験を持つ社外取締役から率直な意見や指摘を受けながら、ガバナンスの強化と持続的な企業価値向上に努めます。

サステナブルな経営を推進して、企業価値向上を目指す

当社は、この一年、多くのステークホルダーの皆さまとの対話を深めてまいりました。そのなかで、情報開示の充実と当社グループへの理解を深めていただくため、2023年7月に株主・投資家情報サイト及びサステナビリティサイトをリニューアルしました。そうした取り組みが外部評価でも形として表れており、手ごたえを感じています。

当社は、「優れたテクノロジーを、親しみやすく」を「Mission - 企業理念」として、「社会のデジタル変革をリードするNo.1クラウドインテグレーター」を「Vision - 目指す姿」として掲げています。Mission、Visionで私たちが大切にしている姿勢を明確にし、JBSらしくどう行動するかを、これまでの歩みを未来につなげていけるよう5つの行動指針「Customer First」「Diversity & Inclusion」「Integrity」「Passion for Technology」「Commitment to Growth」に込めています。

さらに、企業理念の実現に向けて、「社会の持続可能性」と「JBSの持続的成長」の2つのサステナビリティを両立させ、事業を通じた社会価値と企業価値の創出に取り組んでいくために、2023年9月にサステナビリティ基本方針の策定とマテリアリティ（重要課題）の特定を行いました。今後は、特定したマテリアリティの解決に取り組み、経営基盤の強化を図り、社会貢献と当社グループの持続的な成長を両立させてまいります。

私たちは、今後も多くのステークホルダーの皆さまへの積極的な情報発信と対話を実践し、経営に活かしていきたいと考えています。今後とも皆さまの変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。